

INFO-HIRO-21

第503号 2021年7月1日
弘前大学総務部広報・情報戦略課

新型コロナウイルス感染症の状況により、イベント・行事の実施について、
変更が生じる場合がございます。
最新の情報は弘前大学公式ホームページ(<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>)にてお知らせいたします。

イベントのお知らせ

弘前大学資料館第27回企画展について

弘前大学資料館では第27回企画展として「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—」を6月14日から8月21日まで特設コーナーにおいて開催いたします。

弘前大学の前身学校である旧制弘前高等学校は今からちょうど100年前の大正10年（1921）4月に開校しました。ここ弘前の地に全国から多くの優れた学生たちが集まり、そして巣立っていきました。この企画展では当時の資料や写真から旧制弘高の歴史をふりかえります。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者の入館を停止している場合がありますので、事前に問い合わせの上、ご来館いただきますようお願いいたします。
みなさまのご来館をお待ちしております。

■弘前大学資料館第27回企画展

「旧制弘前高等学校—みちのく弘前で学んだ学生たちの青春—」

■会 期：2021年6月14日（月）～2021年8月21日（土）
（日・祝 休館 ※8月12日（木）～16日（月）は休館）

■時 間：10：00～16：00

■場 所：弘前大学資料館

【問い合わせ先】

弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

ホームページ：<http://shiryokan.hirosaki-u.ac.jp/>



令和3年度 弘前大学大学院人文社会科学研究科 修士学位論文等成果発表会開催のお知らせ

■日 時

2021年7月28日(水) 14:30~15:40(予定)

■会 場

弘前大学人文社会科学部4階多目的ホール

■内 容

人文社会科学研究科(修士課程)の大学院2年生の
修士論文の発表

—発表者・発表題目—

・ Gwidt Vance Michael (文化科学専攻)
「Creating a Parsed Corpus of the Tsugaru Dialect」

・ 李 笑彤 (文化科学専攻)
「玉藻前説話の考察—姐己との日中比較による文芸思想の
視点から—」

・ ELLIOT LAUREL (文化科学専攻)
「近代日本のクリスチャン家庭における信仰継承について」

弘前大学大学院
人文社会科学研究科 修士課程
Hirosaki University Graduate School of Humanities
and Social Sciences

グローバル化と共生の時代に
人文社会科学の深奥を究める

令和3年度弘前大学大学院 人文社会科学研究科 修士学位論文等成果発表会

日 時 令和3年7月28日(水)14:30~15:40(終了予定)
場 所 人文社会科学部4階 多目的ホール

~プログラム~

14:30 開会の辞

14:35~14:55
「Creating a Parsed Corpus of the Tsugaru Dialect」
文化科学専攻 Gwidt Vance Michael

14:55~15:15
「玉藻前説話の考察
—姐己との日中比較による文芸思想の視点から—」
文化科学専攻 李 笑彤

15:15~15:35
「近代日本のクリスチャン家庭における信仰継承について」
文化科学専攻 ELLIOT LAUREL

15:35 閉会の辞

事前申し込みは不要です! 是非、ご参加ください!

主催: 弘前大学大学院人文社会科学研究科

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。
※入場無料, 事前の申込は不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ

TEL: 0172-39-3941

E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

2021年度「化学への招待」弘前大学一日体験化学教室開催のお知らせ(再掲)

【主催】日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科
【後援】弘前市教育委員会 青森県教育委員会 東北ポリマー懇話会 弘化会

■会 期：8月7日(土) 10:00-16:30

■会 場：弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部
(弘前市文京町3および1)
[交通] JR「弘前」駅前3番バス乗り場で弘南バス「小栗山」または「学園町」行に乘車して「弘前大学前」下車

■参加申込締切：7月23日(金)

■内 容：午前中は講演, 午後はA~Jに分かれて化学実験を体験

1. 講演「タンパク質やDNAを使ってカタチを作る」：
(理工学研究科) 萩原 正規

2. 実験

- A) 「果物のおいを作る」・「ルミノールを用いた発光反応」：
(理工学研究科) 川上 淳
- B) 「色で測る!! 一ドリング剤中の鉄の定量」：
(理工学研究科) 北川 文彦・野田 香織
- C) 「バイオ光化学電池」・「色が変わる無機高分子」：
(理工学研究科) 阿部 敏之
- D) 「プラスチックの性質を探ろう」：
(教育学研究科) 長南 幸安
- E) 「コンピュータの中で分子をつくる」：
(理工学研究科) 山崎 祥平
- F) 「酸素を吸う錯体の夜明け」：
(理工学研究科) 宮本 量
- G) 「めざせ!! 元素マスター —金属精錬と3D周期表—」：
(理工学研究科) 太田 俊
- H) 「DNA抽出実験+VRで見る! 光るタンパク質の正体」：
(農学生命科学研究科) 栗田 大輔
- I) 「オリジナルセッケンを作ろう!」・「魅せる!?カメレオンエマルジョン」：
(理工学研究科) 鷺坂 将伸
- J) 「電気を通すプラスチックをつくってみよう」：
(理工学研究科) 竹内 大介

■対象：高校生(中学生・一般も可)：定員60名

■参加費：無料

■参加申込方法：専用フォーム(<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/form-chemistry2021.html>)よりお申込みください。E-mailやはがき, FAXでも受け付けます。

【問い合わせ先】

〒036-8561 弘前市文京町3 弘前大学大学院理工学研究科 増野 敦信
TEL:(0172)39-3563 FAX:(0172)39-3513
[E-mail:masuno@hirosaki-u.ac.jp](mailto:masuno@hirosaki-u.ac.jp)

(東北支部第306回)

2021年度「化学への招待」 弘前大学一日体験化学教室

主 催 日本化学会東北支部 弘前大学大学院理工学研究科
後 援 弘前市教育委員会 青森県教育委員会
東北ポリマー懇話会 弘化会

会 期 8月7日(土) 10:00~16:30

会 場 弘前大学理工学部・教育学部・農学生命科学部
(弘前市文京町3および1)
[交通] 函「弘前」駅前3番バス乗り場で弘南バス「小栗山」または「学園町」行に乘車して「弘前大学前」下車

参加申込締切 7月23日(金)

午前中は講演, 午後はA~Jに分かれて化学実験を体験

1. 講 演「タンパク質やDNAを使ってカタチを作る」 (理工学研究科) 萩原 正規

2. 実 験

A) 「果物のおいを作る」・「ルミノールを用いた発光反応」 (理工学研究科) 川上 淳
B) 「色で測る!! 一ドリング剤中の鉄の定量」 (理工学研究科) 北川 文彦・野田 香織
C) 「バイオ光化学電池」・「色が変わる無機高分子」 (理工学研究科) 阿部 敏之
D) 「プラスチックの性質を探ろう」 (教育学研究科) 長南 幸安
E) 「コンピュータの中で分子をつくる」 (理工学研究科) 山崎 祥平
F) 「酸素を吸う錯体の夜明け」 (理工学研究科) 宮本 量
G) 「めざせ!! 元素マスター —金属精錬と3D周期表—」 (理工学研究科) 太田 俊
H) 「DNA抽出実験+VRで見る! 光るタンパク質の正体」 (農学生命科学研究科) 栗田 大輔
I) 「オリジナルセッケンを作ろう!」・「魅せる!?カメレオンエマルジョン」 (理工学研究科) 鷺坂 将伸
J) 「電気を通すプラスチックをつくってみよう」 (理工学研究科) 竹内 大介

■対 象：高校生(中学生・一般も可) 定員60名
■参 加 費：無料
■参 加 申 込 方 法：専用フォーム(<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/form-chemistry2021.html>)よりお申込みください。E-mailやはがき, FAXでも受け付けます。

令和3年度弘前大学大学院保健学研究科FD講演会開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、令和3年度FD講演会を下記のとおり開催いたします。事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

■日時：2021年9月30日（木）17時00分～18時30分

■会場：弘前大学医学部保健学科 第63講義室
※状況によりオンライン開催へ変更する場合があります

■講演名

「ルーブリック評価基準の作成方法」

■講師

佐藤 浩章先生

日本高等教育開発協会 会長
大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部 准教授

■参加費：無料

【問い合わせ先】

弘前大学大学院保健学研究科科学務グループ
電話：0172-39-5911

※当日は、パソコンをご持参ください。

令和3年度 FD委員会講演会

ルーブリック評価基準の作成方法

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思っことはありませんか？
ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。
ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。
本講演会ではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

講師
佐藤 浩章 先生
日本高等教育開発協会 会長
大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部 准教授

日時 令和3年 9月30日(木) 17:00～18:30
会場 弘前大学医学部保健学科 第63講義室
参加費無料、事前申込不要
※状況によりオンライン開催に変更する場合があります

*当日は、パソコンをご持参ください。

◇プログラム
17:00 開会挨拶（研究科長：齋藤陽子）
17:05～18:30 講演（質疑応答含む）

主催：弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

1枚目のレポートの採点基準と50枚目のそれがずれていると気になったことはありませんか？
評価にかかる時間をもっと短縮できたらと思っことはありませんか？ルーブリックがそんな悩みを解決してくれます。ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。本講演会ではルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、自らの授業で活用できるルーブリックを実際に作成します。成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員だけでなく、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員の方にも有用な内容です。

令和3年度弘前大学大学院人文社会科学研究所 市民カレッジ受講者募集のお知らせ(再掲)

1. 受講資格：4年制大学を卒業した方
2. 受講料：1科目あたり 11,500円
3. 会場：弘前大学文京町キャンパス文社会科学部棟
4. 申込方法：問い合わせ先に連絡してください。
5. 受講申込書などをお送りします。

【問い合わせ先】

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ(人文社会科学研究所担当)

電話：0172-39-3941

E-mail：jm3941@hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学大学院
人文社会科学研究所市民カレッジ**

令和3年度 受講生募集

弘前大学大学院人文社会科学研究所は、地域社会の課題や国際社会の変化に対応できる高度専門職業人を養成しています。社会人のみならず、人文社会科学研究所<市民カレッジ>で「学び直し」「学び直し」を始めませんか？

市民カレッジの特徴

- 弘前大学文京町キャンパスで大学院の授業科目を受講することができます。
- 学位の取得を目的とせず、知識・技能の習得を目的とする課程です。
- 受講科目の成績は、大学院入学後、正規の単位に振り替えることができます。
- 4年制大学を卒業した方であれば、どなたでも受講できます。
- 受講料は、1科目11,500円です(入学科・校定料は必要ありません)。

開講科目について

- 10の専門分野からなる専門科目17科目を統括します。
- 大学院の授業科目を正課の大学院生と一緒に受講していただく形になります。
- 市民カレッジの受講者が通算で受講できる科目数の上限は、5科目です。

申し込み締切日

前期開講科目：4月5日(月)、後期開講科目：8月31日(火)

申し込み・問い合わせ先

弘前大学 人文・地域研究科教務グループ
TEL:0172-39-3941 FAX:0172-39-3189
Mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

■開講科目【専門科目】

後期	月	9・10	産業組織論	小谷田 文彦	経済・統計分析
	火	1・2	生命環境倫理思想	横地 徳廣	思想・芸術科学
		9・10	雇用政策論	李 永俊	政策評価
	水	5・6	実証会計	加藤 恵吉	会計情報
	木	3・4	イギリス現代小説論	畑中 杏美	言語科学
		3・4	文化財科学	片岡 太郎	文化財論
		5・6	金融論	飯島 裕胤	政策評価
		9・10	日本語史	新永 悠人	日本語・日本文学
	金	7・8	フランス文化論	泉谷 安規	国際地域論

※開講科目の詳細は、弘前大学ホームページ掲載のシラバス(大学院)人文社会科学研究所を参照して下さい。(現在閲覧できるシラバスは2020年開講のもので)

シラバス URL：<https://www.hirosaki-u.ac.jp/support/syllabus.html>

学内掲示板

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第58号」では、「Challenge! 国立大学」において、弘前大学の100円夕食の取り組みが紹介されています。ぜひご覧ください。

最新号「国立大学第59号」

https://www.janu.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/janu_vol59.pdf

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<https://www.janu.jp/janu/report/koho/>

その他、第52号・第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：INFO-HIRO-21は毎月1日、月1回発行しています。

講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿は発行予定日の7日程度前までに、掲載希望の旨付記し、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

【担当】総務部広報・情報戦略課 広報室 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp TEL:内線2015 FAX:37-6594